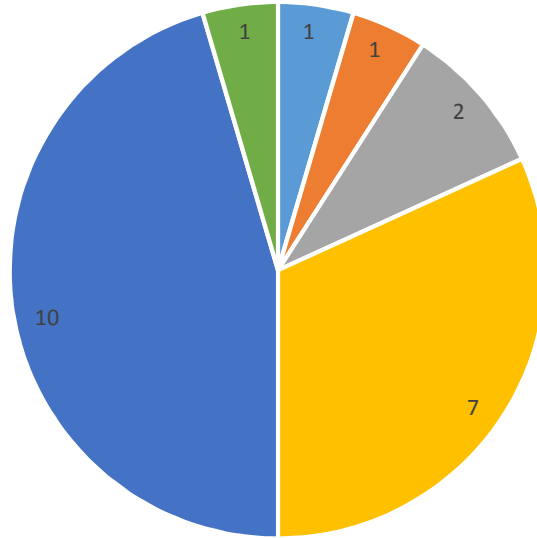


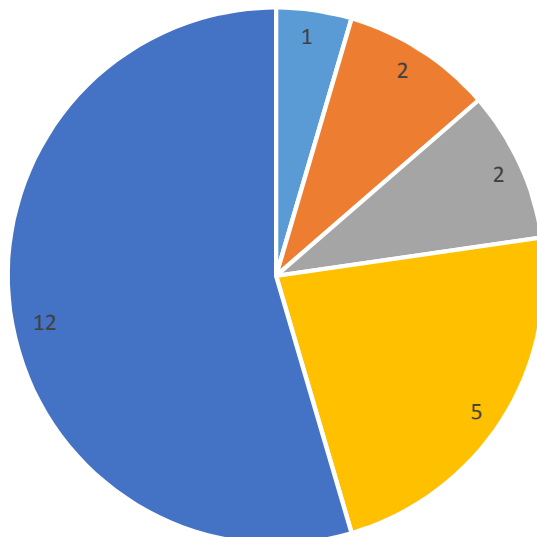
生活環境部会 ごみ問題に関するアンケート結果

1 年齢



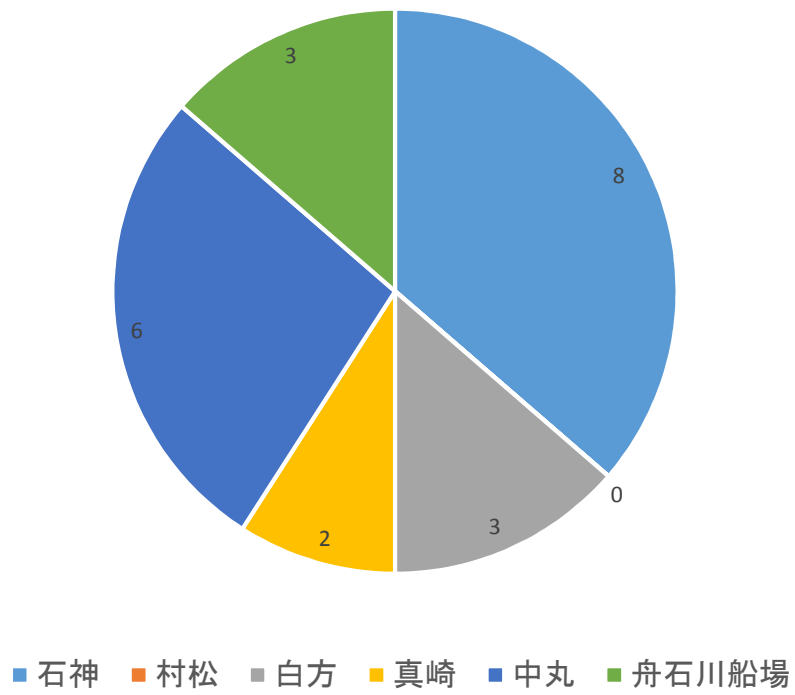
■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代

2 在住年数

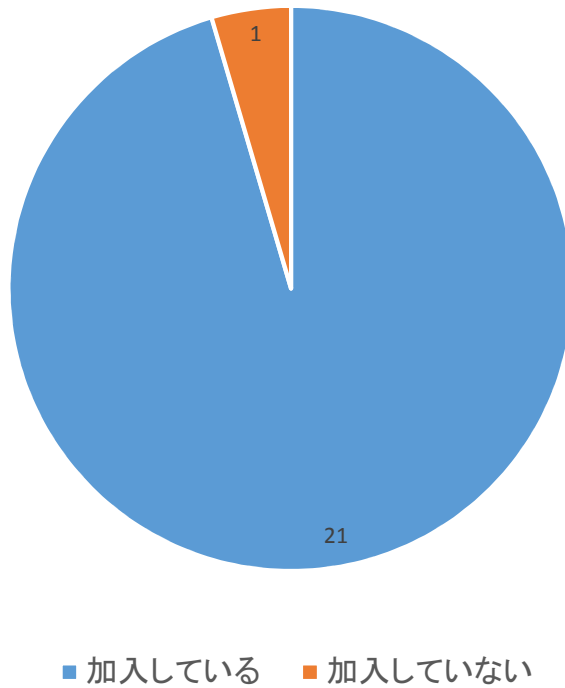


■ ~10年 ■ 11年~20年 ■ 21年~30年 ■ 31年~40年 ■ 41年以上

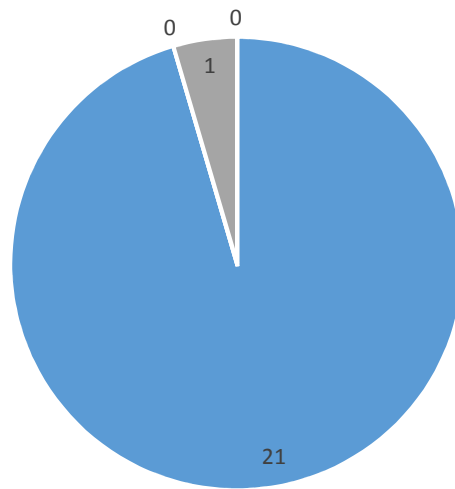
3 住まいの地区



4 自治会加入の有無

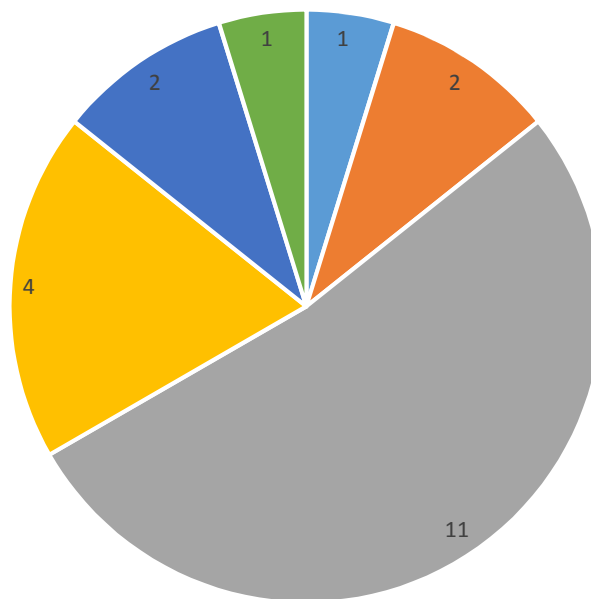


5 住宅の形態



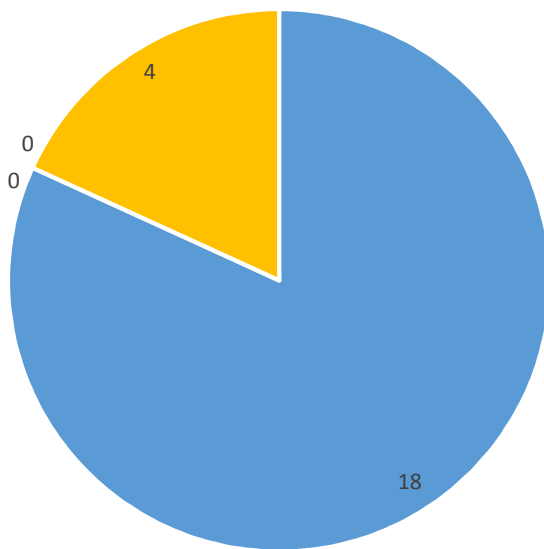
- 持ち家(一戸建て)
- 持ち家(アパートなどの集合住宅)
- 賃貸住宅(アパート, マンション等)
- その他

6 同居家族人数



- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 7人

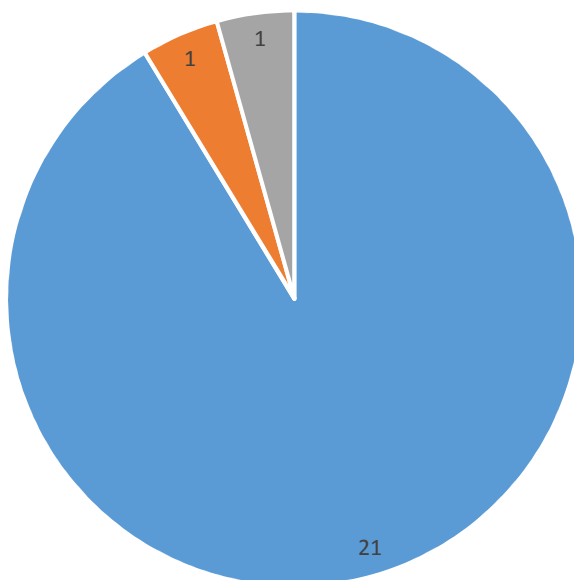
7 生ごみの処理方法



■ 地域のゴミステーションを利用 ■ クリーンセンターへの持込 ■ 民間収集業者に委託 ■ 電動生ゴミ処理機・コンポスト等の活用

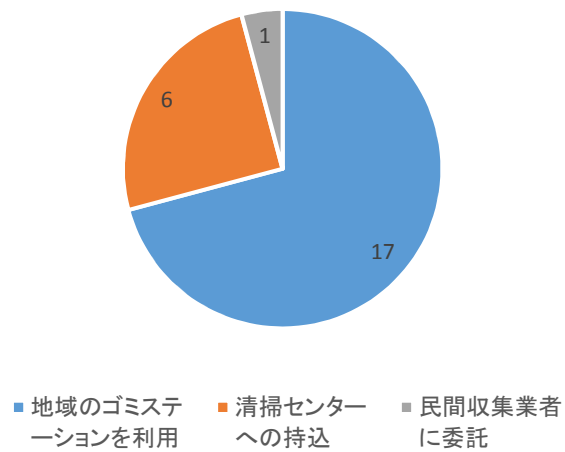
※コンポスト等には、「所有の山林(地中)に埋め込み」も含む。

8 燃えないごみの処理方法

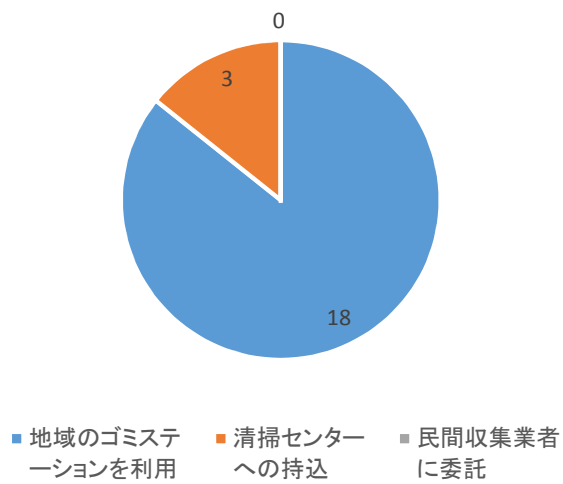


■ 地域のゴミステーションを利用 ■ 清掃センターへの持込 ■ 民間収集業者に委託

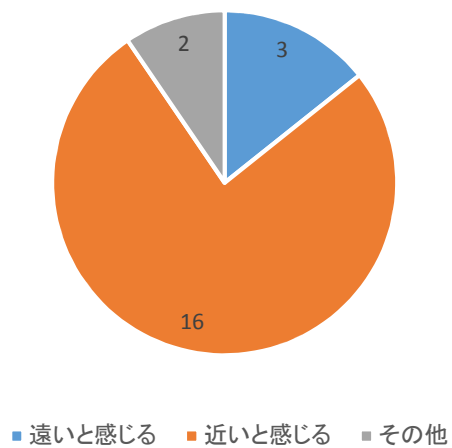
9 粗大ごみの処理方法



10 資源物の処理方法



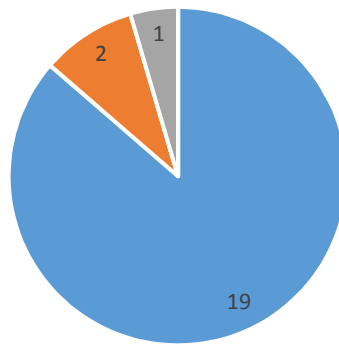
11 ごみステーションの場所



- ※ こんなものです。現在は良い。
- ※ どちらでもない。
- ※ 資源物については遠いと感じる。

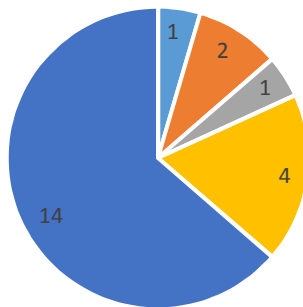
12 希望する村のごみ収集の頻度

燃えるごみ



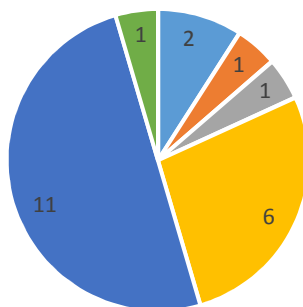
- 燃えるごみ 週2回
- 燃えるごみ 週3回
- 燃えるごみ 月1回

燃えないごみ



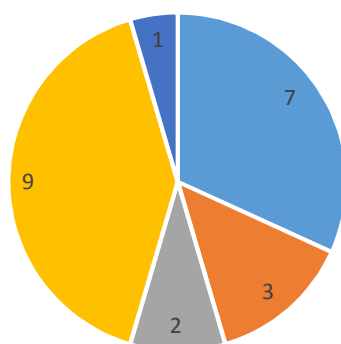
- 燃えないごみ 週1回
- 燃えないごみ 週2回
- 燃えないごみ 月0.5回
- 燃えないごみ 月1回
- 燃えないごみ 月2回

粗大ごみ



- 粗大ごみ 週1回
- 粗大ごみ 週2回
- 粗大ごみ 月0.5回
- 粗大ごみ 月1回
- 粗大ごみ 月2回
- 粗大ごみ 不明

資源物



■ 資源物 週1回 ■ 資源物 週2回 ■ 資源物 月1回 ■ 資源物 月2回 ■ 資源物 月3回

※「今のままでよい」との意見1件あり。

13 ごみ問題で困っていることがあれば記入

※畑の道路際に飲み物の空容器, たばこ空箱, 犬の糞の不法投棄

※資源物の立哨が高齢のためにできない。

※道路沿いのごみ, 排水溝(側溝)のごみ。道路脇, 畑の法面の雑草(枯れて散らばる)

※ネットの所はカラスや猫がゴミを散らかしているのを時々見かける。私たちのクリーンステーションも金網の外からカラスがゴミを引っ張り出して散らかすので今年から下の方に波トタンを張った。

※ごみステーションの場所は借地なので, 立退きの申し出があった時, 代替地を求めることが難

※道路脇のゴミ集積所には地域以外の方が出勤途中で指定以外の袋で出している。

※通勤の途中, 他市町村?(捨て方がマナー違反なので…)の方が捨てていくこと。

※高齢者が多くなってきているのでステーションの利用距離もこれから工夫が必要なのでは?

※指定の日時に捨てていない。住まいの地区以外の方が捨てる聞いたことあり。燃えるごみと燃えないごみが同時に捨ててある。

※粗大ごみの処理回数を増やしてほしいです。

※可燃ごみの直接搬入が出来なくなるととても不便です。例えばマル秘の帳票類の処分など可燃ごみとして出すのははばかられます。野焼きは駄目, 結局ひたちなかまで持っていかねば安心して処分できない現状です。以前の様に, 村の焼却施設に搬入して, 目前で処分の確認が出来ないので何とも不便です

※電子部品の基盤の回収ができるようにしてほしい

※近い将来ごみステーションが閉鎖になる可能性があり, 代替ゴミステーションが準備されるかどうか不明

14 ごみ問題の改善につながる提案があれば記入

※ごみの自宅前収集について定額有料化する。年金生活の中で支払える額がいくらかわからない。ごみステーションの当番も回避できる。このことによる自治会脱退が回避できる。

※都市計画区域以外ではごみ置場が車が無いと持っていけない遠い場所にあったりする。近くにあっても管理する班に所属していないため捨てられない。区域ごとにごみが捨てられるように行政が指導するべきと思う。

※ペットボトル、空缶などの回収箱を設置し入れた人にはポイントカードを出す(ポイ捨ての抑制)

※台所の生ゴミの水分を減らす水分絞り器の無料配布。⇒焼却処分時のエネルギー節約

※生ゴミも枝葉のチップと同様に堆肥化の原料とする。⇒焼却処分量を減らす。

※私たちのところはとてもきれいで当番制もきちりしているが、ほかの自治会は若い人のマナー違反が多いと聞いている。将来的には有料で清掃当番をお願いすることも考えていかなければならない。

※近所で朝夕プラスチック、ビニール等化学物質の焼却をする人がおります。行政側からの強い指導、啓蒙活動が望まれます。

※数年前に生ゴミを回収し肥料にする試みをした。ゴミが減ったと感じた。生ゴミの堆肥化の検討を…。

※区画整理が始まる前に受けた説明どおり、一定範囲(歩いていける距離)内にゴミステーションを区画整理事業の一環として設置すべきである。

15 その他ごみ問題について要望等があれば記入

※分別は資源の回収になるが、そのための労力との兼ね合いだと思う。高齢者が立哨に困るのなら、別途有料回収にするか、資源でなくごみとして認定し回収する。今は資源は回収しない。

※都市計画区域内にはごみ置場が確保されているが、小屋は利用者が設置することになっている。区画整理されたところは、早く小屋を設置した班が管理することになっているが、ほとんど班以外の人を使うところもある。こういう旗振り行政が行うのがいいと思うが、まったくノータッチである。

※現在、ごみ出し時間が8:00まで(以前は8:30)になっているが8:30に戻してほしい。

※資源当番になると休みをとって当たらなければならない。共働きが多くなっている現在、負担に感じており、自分は清掃センターに提出しているが、それでも当番をやらなければならない。地域の老人会の方々にお願いできないもので

※雑紙(ザツガミ。燃えるごみとして回収している紙由来のもの。Ex.トイレットペーパーの芯)も資源として回収する。

※「東海村環境監視員」制度は有効に機能していますか？毎月提出される報告書も今回のアンケートを纏める際に利用し、ごみ対策の指針づくりに役立て

※ごみの出し方が分からない。

※自治会に加入していないので、自治会の集積所が利用できず困っている。などの問題はありますか。

※ポイ捨ては汚いところに多い気がする。常に気付いたら拾うことを心がけたい。

※資源ごみと同じ場所に地域のステーション(不燃、粗大、燃えるごみ)を設置してはどうか(村主体於)

※燃えるごみを東海村の清掃センターへの搬入を実施してほしい。

※ゴミ集積所は常会で管理しているので、勿論通りすがりの部外者が捨てることは許されないのですが、集積所の近くに住んでいながら遠くの常会の所(隣の常会)まで一生懸命運んでいる足の悪い高齢者がおられるのでどうにかできないものかと感じております。(自分のことは自分で、と考えている高齢者です)

※資源物の回収日が変わる頻度が早いので、年々忘れやすいため少し長くできないでしょうか？

※生活環境部会の方から場内放送で注意をしていただく。(例。ごみは指定された日時に捨てましょう。指定された以外の日時は捨てないで下さい。)

※資源物収集ステーションへの搬入ですが、通勤時間帯と重なり道路事情が悪く危険でほとんど利用しておりません。資源物は清掃センターへの搬入が可能ですので現在は何とかなっておりますが、数年後運転が出来なくなったとき資源物の搬出は出来なくなると思われます。

※一般家庭ゴミは地方自治体が責任を持って処理することになっており、小生の出身地では家の前にゴミ箱を出しておくのとそれを集めに来ていた。いつからゴミステーションに出さないと集めに来ない、ゴミステーションの数も少ないとなったのだろうか。村がゴミステーションをある区画ごとに設置し、そこに出すように村民に話すのが筋ではないか。今は村民に押し付ける形になっていないだろうか。